



Supported by CVD (Cambodian Vision in Development), EMERGENCY, Krousar Thmey, ICRC (International Committee of the Red Cross), MAG (Minors Advisory Committee), O.E.C. (Operation Enfants de Cambodge), SENAL CORD REHABILITATION CENTER, VOCATIONAL TRAINING CENTER FOR DISABLED BANTEAY MEAN CHEY
 Sponsered by DATA MAX Co., Ltd. <http://www.data-max.co.jp/>
 UNITED PEOPLE Co., Ltd. <http://www.unitedpeople.jp/index.html>
 NGO SAVE OUR MOTHER BARTH (SOME) <http://www.some.or.jp/>
 Printed by Designed by Battambang Provincial Training Center (PTC)

CMC
 Cambodia Mines-remove Campaign
 TEL: 092-938-291 (Poenth)
 012-201-959 (Tuya)
 URL: <http://cmc-net.jp>

2007 年度「VOICE OF HEART」の広告

「悪魔の兵器」地雷。内戦が終わった今でもカンボジア国内には 600 万個とも言われる数の地雷が埋まったままである。そして地雷撤去団体の懸命な除去作業にもかかわらず地雷の事故は未だ起こり続けている。

カンボジアには地雷被害に遭った障害者を支援している NGO 団体が多く存在する。CMC が現地事務所を置くバタンバンにある救急病院 EMERGENCY や義足・義手を無料で提供する ICRC もそのひとつである。さらに職業訓練を提供して彼らの自立をサポートしている団体もいくつか存在する。このようにカンボジアでは各種 NGO が連携して地雷被害者の社会復帰に向けての支援体制を確立しているのである。

しかしながら地雷被害に遭った人々の中には身体的なダメージだけでなく精神的なダメージを負っている方も少なくない。CMC はここに光をあて、地雷被害者のメンタルサポートを目的としたラジオ番組「VOICE OF HEART」を一昨年 1 週間、昨年 4 ヶ月間と行ってきた。番組は大反響を呼び、放送の継続を切望する声が多く聞かれた。2007 年 6 月、そんな彼らの声に応じて「VOICE OF HEART」を再開する運びとなった。

番組の目的

- 地雷・不発弾被害者をはじめとする障害者の方々に、逆境にめげずに前向きに生きようとする気力を持ってもらうこと。
- 地雷・不発弾被害者をはじめとする障害者の方々が抱えている苦労や悩みを人々に理解してもらい、彼らに対する差別・偏見をなくすこと。
- 地雷・不発弾の危険性を啓蒙し、新たな地雷・不発弾被害を減少させること。

放送期間

2007 年 6 月から 11 月の 6 ヶ月間

放送時間

- FM 96.5 (バンテアイミエンチャイ州 シソボン)
毎週日曜日 19:00~20:00 6 月 3 日開始 (全 26 回放送)
- FM 103.25 (バタンバン州 バタンバン)
毎週土曜日 11:00~12:00 6 月 2 日開始 (全 26 回放送)

■カンボジアでは一般的に昼休みが長く取られ、この時間帯にラジオを聴く人が多くみられる。また、夜の時間帯はラジオよりもテレビを見ている家庭が多く見られる。こうした理由で、今年は主に都市部をカバーするバタンバンの放送局では昼の時間帯に放送を行うことにした。

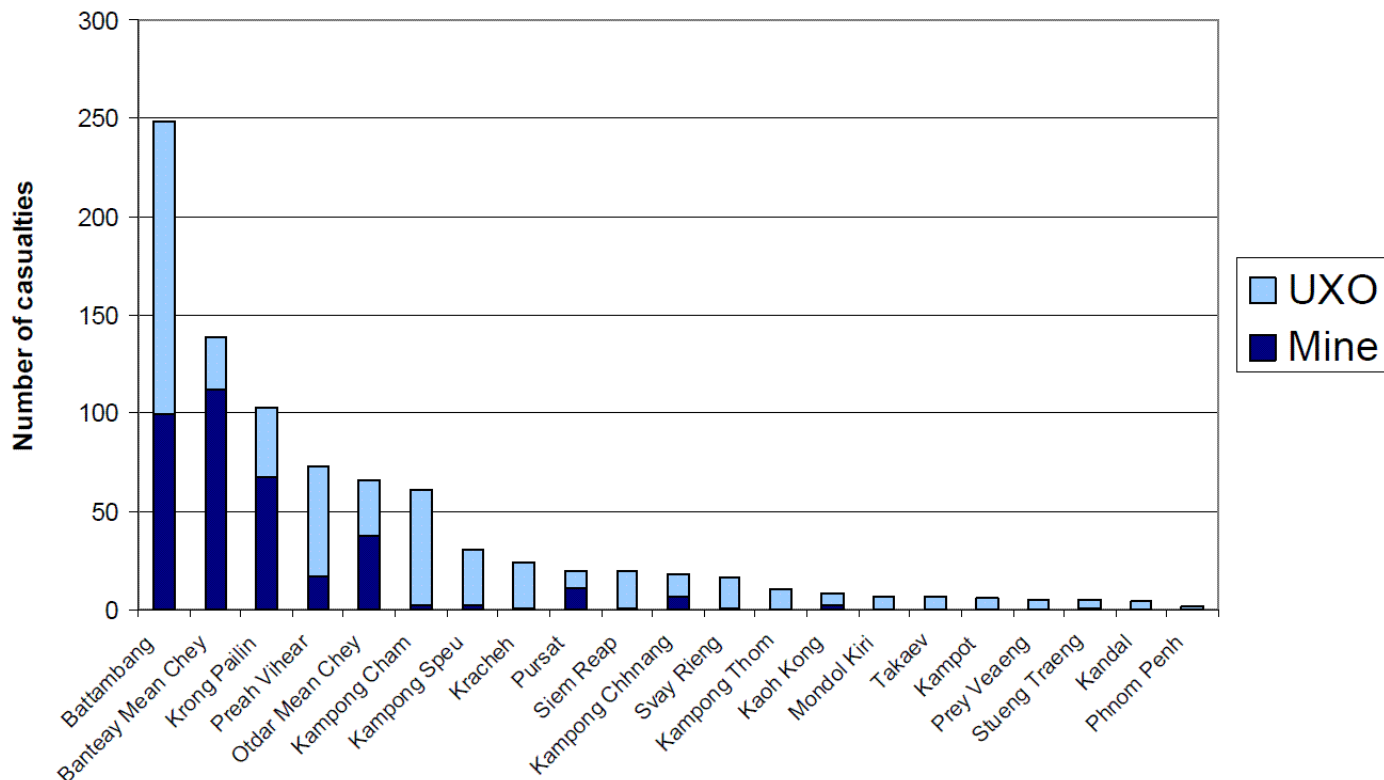
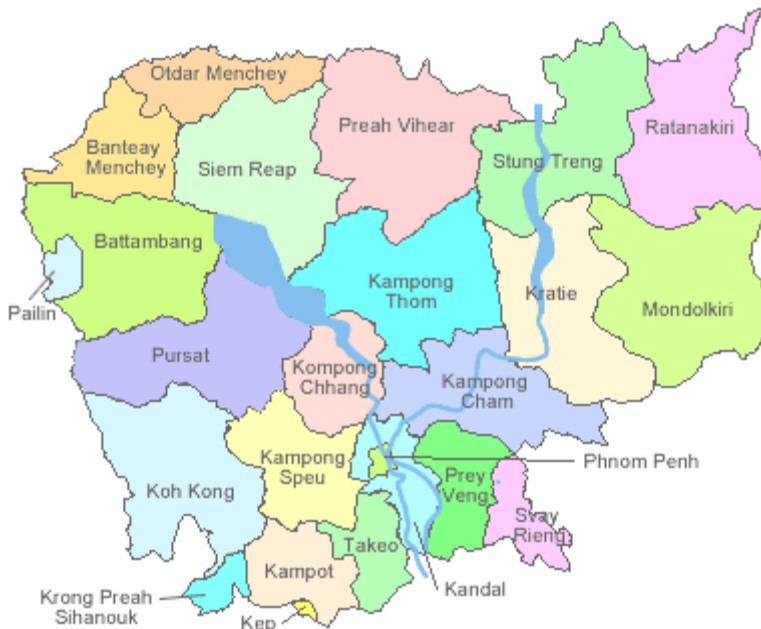
可聴エリア

FM 96.5

バンテアイミエンチェイ州、バタンバン州、
 ポーサット州、オーダーミアンチャイ州、シ
 ェムリアップ州、パイリン特別市

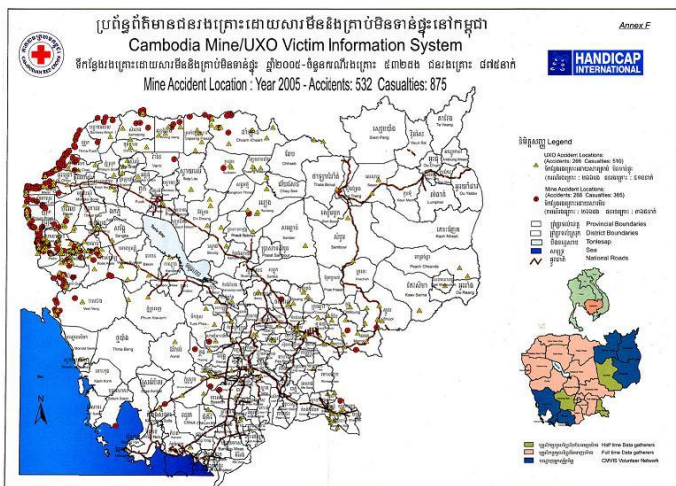
FM 103.25

バタンバン州（特にバタンバン都市部）



資料提供：地雷事故調査機関 CMVIS

■上図は 2005 年におけるカンボジア国内、州別の地雷・不発弾事故による新たな被害者数である。縦軸が被害者数、横軸が州名である。また、紺色が地雷による被害者の数、水色が不発弾による被害者の数である。毎年、被害者の数こそ変動はあるが、被害の多い地域の順位にほとんど変動は無く、タイ国境付近に集中している。「VOICE OF HEART」はこれらの被害の特に多い州を可聴エリアとしている。2005 年のデータだけでみると、実にカンボジア国内全被害者のおよそ 70%が可聴圏内になることになる。



2005 年地雷・不発弾事故の場所を示したマップ。赤点が地雷事故であるが、事故はタイ国境付近に集中していることが分かる。
(資料提供: CMVIS)



FM96.5 の可聴エリア。地雷・不発弾被害者の多く住む地域をカバーしている。

番組構成

オープニング	5 分
障害者が愛する人に宛てて書いた手紙の朗読	5 分
インタビュー（障害者と彼らを支援する NGO 団体）	10 分
障害者が綴った詩の朗読	13 分
リクエストソング①	5 分
電話タイム（地雷に関するクイズまたはディスカッション）	12 分
リクエストソング②	5 分
エンディング	5 分

■ オープニング

「障害者の皆さん、強く生きていきましょう！」という意味の込められた古いカンボジアの歌謡曲が流れだし、番組がスタートする。DJ の挨拶の後、今日のカンボジアの地雷問題を解説し、番組の内容を説明。

■ 手紙の朗読

障害者が遠く離れた家族や恋人に向けて書いた手紙を 2 通朗読。その後、DJ が解説。障害者の抱える悩みや苦勞をリスナーに理解してもらうことを目的としている。

■ インタビュー

地雷被害者に対して、どういう経緯で事故にあったのか、また、現在どのようなことに頑張っているのかをインタビュー・録音し、番組で再生する。逆境に負けずに頑張っている障害者の声を流し、リスナー、特に悩みを抱

えている障害者を励ますことを目的としている。また、隔週で障害者を支援している各種NGOにインタビューをしたテープを流し、それらNGOの存在を障害者に知らせる。これにより、番組が障害者と支援NGOのパイプ役となる。

※インタビューテープ再生後にCMCの活動紹介、番組のスポンサーになってくださった企業、団体名を放送。

■ リクエストソング

詩や手紙を書いてくださった障害者がリクエストした曲を流す。

■ 詩の朗読

カンボジアの伝統楽器の曲をBGMに、障害者が心の奥底に秘められた思いを綴った詩を3通朗読する。障害者の抱える悩みや苦勞をリスナーに理解してもらうことを目的としている。

■ 電話タイム

統計データをもとに地雷や不発弾の事故に関するクイズを出題。番組と電話がつながったリスナーに出題し、正解すればその後に流す歌謡曲のリクエストができる。プロジェクト期間の後半ではクイズに変わって地雷の問題・不発弾に関するテーマで電話がつながったリスナーと議論を交わす。地雷問題への意識の向上、知識の啓蒙による、新たな地雷・不発弾の事故の減少を目的としている。

■ リクエストソング

電話コーナーでリスナーがリクエストした曲を流す。もしくは詩や手紙を書いてくださった障害者がリクエストした曲を流す。

■ エンディング

番組の総括をするとともに、CMCスタッフの電話番号を放送し、放送後1時間、番組への感想や各種相談を受け付ける。

詩や手紙、インタビューに協力していただいた現地の団体

- **CVD (Cambodian Vision in Development)**
ポリオ患者を中心に、障害者に職業訓練を提供している。
- **EMERGENCY**
救急病院。タイ国境付近の地雷被害者が多く運ばれる。
- **ICRC (International Committee of the Red Cross)**
地雷被害者に義足・義手を提供しており、リハビリも行っている。
- **Krousar Thmey**
目や耳の不自由な方のための学校を運営している。
- **MAG (Mines Advisory Group)**
CMCが支援を行っているイギリスの地雷撤去団体。
- **O.E.C (Operations Enfants du Cambodge)**
恵まれない子どもたちを支援しているNGO。地雷被害にあった子どもたちの支援も行っている。
- **SPINAL CORD REHABILITATION CENTER**
NGOハンディキャップインターナショナルが運営する障害者のためのリハビリ施設。
- **VOCATIONAL TRAINING CENTER FOR DISABLED BANTEAY MEAN CHEY**

NGO、CWARSが運営する障害者のための職業訓練施設。地雷被害者も多い。

日本の協賛団体

- データ・マックス株式会社 様 <http://www.data-max.co.jp>
- ユナイテッド・ピープル株式会社 様 <http://www.unitedpeople.jp>
- NGO SOME (SAVE OUR MOTHER EARTH) 様 <http://www.some.or.jp>
- 沖縄県の高校生ボランティア Love&Peace 様

ご協力に心より感謝申し上げます。

